

令和 7 年度



喜多見の教育

第 3 学年

キャリア教育 年間指導計画	1
人権教育にかかわる 年間指導計画	2
教科「道徳」 年間指導計画	3
総合的な学習の時間 年間指導計画	6
教科「日本語」 年間指導計画	7
各教科年間指導計画・評価計画	8

世田谷区立喜多見中学校

令和7年度 キャリア教育 年間指導計画 3 学年

1 学校の目標

- (1) 社会で生き抜く力を身に付け、社会の変化に的確に対応できる能力を育成する。
- (2) 肯定的に自分を理解し、自分の興味や関心に基づく職業観・勤労観を育む態度を育成する。

2 第3学年のテーマ

○テーマと目標

「自分の良さを高め、深める」

中学校生活での経験やそこで感じた気持ちを言語化することにより、自分の良さを高める。

月	テーマ	活動
4	3年生になって (作文)	3年生になったの決意を残す。
5	学習の方法と計画 運動会 (キャリアパスポート)	効果的な学習を実践するために計画を立てる。 自分の良さを活かしながら行事に取り組み、自分が考えたことや経験したことを表現する。
6	高校訪問授業 高校調べ	進路について情報収集し、それらについてまとめる。
	上級学校訪問に向けての取組 進路説明会	卒業後の自分を具体的に想像し、進路実現に向けて上級学校について調べ、訪問に向けて予定を立てる。
7	学期を振り返る (キャリアパスポート) 夏休みの計画	キャリアパスポートを活用し学期を振り返り、課題解決に向けた計画を立てる。
9 10 11	学期の目標 (キャリアパスポート) 第2回 進路説明会 自己PRカードの作成 入試に向けて	キャリアパスポートを活用し学期の目標について考え、表現する。 自分の良さを適切に表現する能力を育成し、伝える力を高めるとともに思考力を養う。 入試に向けての取り組みを通して、自分の進路を選択できるようにする。
12 1	学期を振り返る、学期の目標 (キャリアパスポート) 自分の特性と進路	キャリアパスポートを活用し学期を振り返り、新学期は目標について考え、表現する。 自分の将来や生き方、在り方について考える。
2	入試に向けての取り組み	よりよい将来について考え、自分の進路について考える。
3	中学校生活を振り返る (キャリアパスポート)	学び方やものの考え方を身につけ、探求活動に主体的・創造的・共同的に取り組む態度を育成する。キャリアパスポートを活用し、中学校生活を振り返る。

「」：関連的な教科指導

＜考え方＞

各教科・教科「日本語」・道徳・特別活動・総合的な学習の時間を通して、人権尊重の精神を基調とした教育及び、自他を敬愛し、理想と志を持ち、日本の文化・伝統を継承し、世界の人民と共に生きることのできる自立した個人の育成を重視した。

- ・各教科…生き方を主体的に考え、偏見や差別の解消に努めることのできる能力の育成
- ・教科「日本語」…深く考え、自らの思いや考えを表現できる力の育成
- ・道徳…より良い生き方を求め、しる態度や心構の育成
- ・総合的な学習の時間…主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質の育成
- ・特別活動…より良い生活を築こうとする自主的、実践的な態度の育成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	人権教育の目標にかかわる学級目標を設定する。	生徒理解を深め、新学級での生活適応を図り、望ましい人間関係を築く。ガイダンス機能の充実を図る。								学級生活の向上を図るとともに、自己の良さを発揮し、個性を伸ばす適切な進路選択が主体的にできるよう、支援する。進路選択のための学習を行うとともに、進路にかかわる相談機能の充実に努める。進路選択にかかる。	3年間の中学校生活を振り返り、感謝の気持ちをもたせるとともに、これからの自己の生き方を考えさせる。	
各教科		社会科：「個人の尊重と日本国憲法」 【人権全般】 【女性】 【子供】 【高齢者】 【外国人】 【同和問題】 【障害者】 【性自認】	家庭科：「私たちの成長と家族・地域」 【女性】 【子供】 【高齢者】 【同和問題】 【外国人】 【障害者】 【性自認】								保健体育科：「健康な生活と病気の予防」 【HIV感染者等】	
特別の教科道徳	自分の考えを広げる ・礼儀正しい行動 ・他者と向き合っていく	・自他の声明を尊重する ・誠実な責任ある行動を目指して ・公平公正に接する	・他者への思いやり ・人間関係の構築 ・時を超えてつながる思いを考える	・心理を追求する ・乳幼児とのふれあい ・友情とは		生命を大切にすること ・自他の違いを生かす ・よりよい社会をつくる	差別や偏見のない社会へ ・自分の行動の誠実さ ・目標を持ち続けて学ぶ	よりよく生きる ・伝統や文化を尊重する ・家族とはどんなものかを考える	自然を大切にする ・理想に近づこうとする意志	・良い生活習慣を実践する ・ひとの心に寄り添う ・自分の尊厳について考える	・自分を輝かせる ・心の豊かに取り組む ・自己の成長や考えの深まりを見つめる	
人格の完成をめざして	挨拶	思いやり	責任	良心		勇氣 ・健康的な体	公共心	フェア	奉仕の心	感謝	やりぬく心	学校を愛する心
教科日本語	「日本文化」 ・「住」に住む	「楽」を楽しむ	「技」につくる			「日本文化」 ・「食」を食べる				「日本文化」 ・「衣」を着る		
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間の取組 ・修学旅行への取組 ・食育指導：日本の食文化「京都の食」にふれる」 ・歌舞伎鑑賞への取組	・修学旅行への取り組み ・中間調査への取組 ・運動会への取組と振り返り	・進路学習 ・期末試験の準備と振り返り	・1学期のまとめと振り返り ・夏休みの過ごし方		・自己理解・キャリア学習 ・自己表現への取組 ・進路指導 ・食育指導	・組織づくり ・合唱コンクールへの取り組みと振り返り	・進路面談 ・期末試験の準備と振り返り	・三者面談 ・2学期のまとめと反省 ・冬休みの過ごし方	・自己理解・自己表現活動 ・進路指導 ・「社会人の話を聞く会」への取組 ・救急救命講習		
特別活動	1学期の目標づくり ・組織づくりに関する自己を知る ・授業規律の確立	・修学旅行への取り組み ・中間調査への取組 ・運動会への取組と振り返り	・進路学習 ・期末試験の準備と振り返り	・1学期のまとめと振り返り ・夏休みの過ごし方		・2学期の目標づくり ・進路学習 ・中間試験の準備と振り返り	・組織づくり ・合唱コンクールへの取り組みと振り返り	・進路面談 ・期末試験の準備と振り返り	・三者面談 ・2学期のまとめと反省 ・冬休みの過ごし方	・3学期の目標づくり ・進路学習 ・進路学習	・卒業式への取り組み ・学年末試験の準備と振り返り ・3年間の振り返り	
主な行事	入学式 ・新入生歓迎会 ・生徒総会 ・離任式	・中間調査 ・運動会	・修学旅行 ・道徳地区公開講座 ・期末調査	・保護者会 ・終業式 ・三者面談		・始業式 ・生徒会役員選挙 ・新入生部活動体験 ・中間調査	・進路説明会 ・合唱コンクール	・新入生体験入学 ・期末試験	・三者面談 ・終業式	・始業式	・学習成果展覧会 ・学年末調査	・社会人の話を聞く会 ・保護者会 ・卒業式

令和7年度 特別の教科道徳 年間指導計画 3年

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ (★)・学習活動
4月	【内容項目を限定しない】 1 道徳の学習を始めよう	道徳で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳の学びの見通しをもたせ、これからの学びを広げたり、深めたりしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★1年間の道徳科の時間の中で、特に考えたいことや学びたいことは、何だろう。 1 中学2年時の道徳の学習を振り返る。 2 資料を読んで、これからの道徳授業の見通しをもつ。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(3)向上心、個性の伸長】 2 がんばれおまえ	好きな少女の前で、本当の自分をさらけ出せないと悩む少年の物語を通して、「自分」を見つめさせ、かけがえのない自分を肯定的に捉え、充実した生き方をしていこうとする心情を育てる。	★自分を見つめよう。 1 これまでの自分を振り返る。 2 「がんばれ おまえ」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(2)節度、節制】 3 「こち亀」は、四十年間休みなし	漫画家・秋本治さんが「時間筋」について書いた文章を通して、望ましい生活習慣がもたらすものとは何かを考えさせ、よりよい生活習慣を大切にしようとする実践意欲と態度を育てる。	★望ましい生活習慣がもたらすものとは、何だろう。 1 自分自身の生活習慣を振り返る。 2 「こち亀」は、四十年間休みなし」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【B(8)友情、信頼】 4 私がピンク色のキャップをかぶるわけ	水泳の全国大会を自ざす生徒とそのライバルとの交流を描いた生徒作品を通して、友達とはどんな存在を考えさせ、互いに高め合うことのできるような人間関係を築いていこうとする心情を育てる。	★友達とは、どんな存在なのだろう。 1 「友達」や「親友」の意味について共通理解する。 2 「私がピンク色のキャップをかぶるわけ」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【B(7)礼儀】 5 礼儀正しさとは	礼儀正しい言葉遣いやぐさを書き出したり、柔道・大野将平選手のオリンピックでのエピソードを読んだりすることを通して、礼儀正しさは、人に何を伝えるかを考えさせ、礼儀に込められた相手を尊重する心を大切に、その礼儀を表そうとする心情を育てる。	★礼儀正しさは、人に何を伝えるのだろう。 1 日常生活にある「礼儀正しい姿」を、マップに書き出し、思い起こす。 2 「礼儀正しさとは」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
5月	【D(19)生命の尊さ】 6 「リクエスト食」に込められた思い	「リクエスト食」に取り組むホスピスの話を通して、命を大切にすることはどういうことかを考えさせ、かけがえのない命を大切にしようとする心情を育てる。	★命を大切にすることは、どういうことだろう。 1 ホスピスでの取り組みを知り、人としての尊厳や生きがいについて考えることを共有する。 2 「リクエスト食」に込められた思い」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【C(11)公正、公平、社会正義】 7 小さな出来事	自分が行った不正な振る舞いを回想する人物を描いた魯迅の小説を通して、人々のどんな考え方が公正な社会を作るのかを考えさせ、正義と公正さを重んじる心情を育てる。	★公正な社会をつくるのは、人々のどんな考え方だろう。 1 公正、公平に行動できなかった経験振り返る。 2 「小さな出来事」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
6月	【A(1)自主、自律、自由と責任】 8 三年目の「ごめんね」	修学旅行中、周囲になじめない同級生に一度は声をかけ、いっしょに行動し始めたものの、友人の目を気にして声をかけるのをやめた主人公の姿を通して、自分で考え、誠実に行動することはどうして大切なのかについて考えさせ、誠実で責任ある行動を取ろうとする判断力を育てる。	★自分で考え誠実に行動することは、どうして大切なのだろう。 1 友達との出来事で、何年たっても忘れられない経験を振り返る。 2 「三年目の「ごめんね」」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【B(9)相互理解、寛容】 9 アイツとオレ（まなびをプラス）	対照的な性格の二人の生徒の姿を描いた漫画を通して、他者とわかり合うために必要なことは何かを考えさせ、他者と相互に理解し合い、高め合おうとする心情を育てる。	★他者とわかり合うために必要なことは、何だろう。 1 自分のことを理解してもらえなかった・理解してもらえなかった経験と経験の想起する。 2 「アイツとオレ」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実】 10 私たちの合唱祭	合唱祭の在り方についての解決策を検討することを通して、よりよい学校をつくるために大切なこととは何かを考えさせ、学級や学校の一員として、学校生活を充実させていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★よりよい学校をつくるために大切なことは、何だろう。 1 自分たちの学校のよさや学校行事のよいところについて考える。 2 「私たちの合唱祭」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ (★)・学習活動
7月	【B(6)思いやり、感謝】 11 言葉が見つからないとき	末期がんの善さんと看護師さんたちとのやり取りが描かれた文章を通して、人が人を思うとは、どういうことかを考えさせ、多くの人々の善意により自分があることに感謝し、進んでそれに応えようとする心情を育てる。	★人が人を思うとは、どういうことだろう。 1 親切にして相手を助けたり、思いやりに触れて助けられたりした経験がないかを振り返る。 2 「言葉が見つからないとき」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【D(20)自然愛護】 12 タコをたどって見えるもの	身近な食材であるタコについての資料などを通して、自然を大切にしながら生活していくためにはどんな考えが必要かを考えさせ、自分たちの生活とつながっている自然環境を、進んで守っていくようとする実践意欲と態度を育てる。	★自然を大切にしながら生活していくためには、どんな考えが必要だろう。 1 食材としてのタコが自分たちの生活でどのように使われているかを共有する。 2 「タコをたどって見えるもの」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(3)向上心、個性の伸長】 13 自分を輝かせるには	陸上選手の中希美さんらの「自分を輝かせる言葉」を通して、自己を見つめ、個性をよりよい方向に伸ばして自分らしく生きるためのヒントを手に入れ、自己を向上させ、充実した生き方をしようとする実践意欲と態度を育てる。	★自分を輝かせる言葉を通して、自分を見つめ、自分らしく生きるためのヒントを手に入れよう。 1 (まなびの準備) 自分を輝かせた言葉を探し、記入する。 2 「自分を輝かせるには」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【C(13)勤労】 14 働く姿から見えるのは?	水族館を動かしている、さまざまな職種に従事する人たちの仕事への思いを通して、一人一人のどんな働く姿勢が社会や組織を動かしているのかを考えさせ、将来、働くことを通して社会や組織に貢献しようとする実践意欲と態度を育てる。	★一人一人のどんな働く姿勢が、社会や組織を動かすのだろう。 1 例えば水族館 (動物園やスーパーなどでも可) には、どんな種類の仕事があるか、予想する。 2 「働く姿から見えるのは？」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
9月	【D(21)感動、畏敬の念】 15 サグラダ・ファミリア——受け継がれていく思い	ガウディが設計したサグラダ・ファミリアの建設に携わる外屋さんの姿を通して、人は、どんなものに心を動かされるのかを考えさせ、時を超えてつながる思いや美しいものの、気高いものを感じる心を大切にすることを目指す。	★人は、どんなものに心を動かされるのだろう。 1 サグラダ・ファミリアについて知る。 2 「サグラダ・ファミリア——受け継がれていく思い」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【D(19)生命の尊さ】 16 「きみは赤ちゃん」より	出産を経た筆者が、生まれてきた子への思いをつづった文章を通して、命について考えさせ、「産む」ことと「生まれる」ことから、かけがえのない命を尊重する心情を育てる。	★命について、考えよう。 1 教師が、自分自身が生まれたときのエピソードを語る。 2 「『きみは赤ちゃん』より」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【C(10)遵法精神、公徳心】 17 漫画泥棒	漫画の紙面をSNS上で紹介しようと思っていた「私」が映画の無断投稿について考える話を通して、他者の権利を守るために大切なのはどんなことかを考えさせ、自他の権利を大切にし、規律ある社会の実現を目指す判断力を育てる。	★他者の権利を守るために大切なのは、どんなことだろう。 1 映画館にある「NO MORE 映画泥棒」のCMやポスターを目にしたことがあるか尋ねる。 2 「漫画泥棒」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(1)自主、自律、自由と責任】 18 インターネットの中の社会で (まなびをプラス)	SNS上の「炎上」を扱った教材を通して、インターネットで人々がつながる社会を生きるためには、どんな考え方が必要かを考えさせ、自律を重んじ、自分の言動に責任をもとうとする実践意欲と態度を育てる。	★インターネットで人々がつながる社会を生きるためには、どんな考え方が必要だろう。 1 インターネット上での書き込みに関わる経験について振り返る。 2 「インターネットの中の社会で」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
10月	【C(14)家族愛、家庭生活の充実】 19 家族って? 家族って?	さまざまな家族の形を知ることを通して、家族とはどのようなものかを考えさせ、自分なりの理想の家族を思い描きながら、よりよい家庭生活を築こうとする心情を育てる。	★家族とは、どのようなものだろう。 1 「家族」に対するイメージを出し合う。 2 「家族って? 家族って?」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度】 20 好いとっちゃん、博多	郷土を愛し、その発展に尽力した西島伊三雄さんの思いや願いについて書かれた文章を通して、郷土を愛する心について考えさせ、地域社会の一員として郷土の発展に努めようとする心情を育てる。	★郷土を愛する心について、考えよう。 1 自分の故郷の伝統や文化について振り返る。 2 「好いとっちゃん、博多」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ (★)・学習活動
11月	【C(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度】 21 障子あかり	照明デザイナーの石井幹子さんが日本の光文化について語った文章を通して、日本の文化を知り、継承することの意義を考えよう。 造っていくこととする心情を育てる。	★日本の文化を知り、継承することの意義を考えよう。 1 日本の家屋特有だと思ふものを出し合う。 2 「障子あかり」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【C(12) 社会参画、公共の精神】 22 一票を投じることの意味	選挙に関心をもち始めた生徒を描いた物語と、選挙の意味について書かれた説明文を通して、よりよい社会を実現するために大切なことは何かについて考えさせ、社会の問題に目を向け、社会参画への意識を高めようとする実践意欲と態度を育てる。	★よりよい社会を実現するために大切なことは、何だろう。 1 自分が18歳になったら選挙に行くかどうか、考えを出し合う。 2 「一票を投じることの意味」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【D(22) よりよく生きる喜び】 23 足袋の季節	おばあさんのつり銭をぐまかし、それを償うことができなかった後悔の念を語る随筆を通して、人がもつ弱さや醜さを見つめ、それを乗り越えようとする力について考えさせ、自分の弱さや向き合い、誇りをもつて生きようとする心情を育てる。	★人がもつ弱さや醜さを見つめ、それを乗り越えようとする力について、考えよう。 1 誰もがもっている弱さや醜さについて、自分の生活を振り返って考える。 2 「足袋の季節」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(4) 希望と勇気、克己と強い意志】 24 希望のカレンダー	「希望学」を研究している筆者が、東日本大震災後、被災地にカレンダーを届けたエピソードを通して、「希望」は、私たちにどんな力を与えるのかについて考えさせ、人間としてよりよく生きるために希望の価値を見いだそうとする判断力を育てる。	★「希望」は、私たちに、どんな力を与えるのだろう。 1 カレンダーを普及どのように使っているか振り返る。 2 「希望のカレンダー」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
12月	【C(11) 公正、公平、社会正義】 25 ぼくの物語 あなただの物語	黒人作家ジュリアス・レスターの人種差別問題についてのメッセージを通して、差別や偏見のない社会を実現するために大切なことは何かについて考えさせ、正義を重んじ、差別や偏見をなくすための判断力を育てる。	★差別や偏見のない社会を実現するために大切なことは、何だろう。 1 社会に存在する差別や偏見について考え、それについての疑問や考えを出し合う。 2 「ぼくの物語 あなただの物語」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【C(11) 公正、公平、社会正義】 26 あってはならない違い (まなびをプラス)	生活の中にある「さまざまな違い」を通して、「あってはならない違い」をなくすためには、どんな考え方が大切なのかを考えさせ、公正、公平な考え方をもち、よりよい社会をつくろうとする実践意欲と態度を育てる。	★「あってはならない違い」をなくすためには、どんな考え方が大切なのだろう。 1 身近な生活や社会において「これは公平だろうか」と疑問をもったことについて出し合う。 2 「あってはならない違い」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【B(9) 相互理解、寛容】 27 ソーシャル・ビュー——見えない人と楽しむ美術鑑賞	見えない人と楽しむ美術鑑賞について書かれた文章を通して、社会で他者と共に生きていくためにはどんなことが大切かを考えさせ、人には、それぞれの個性に根ざしたものの見方や考え方があってこそ理解し、互いの個性を尊重しながらよりよい社会を築いていくこととする実践意欲と態度を育てる。	★社会で他者と共に生きていくためには、どんなことが大切なのだろう。 1 「共生」という言葉に対する自分のイメージを明らかにする。 2 「ソーシャル・ビュー——見えない人と楽しむ美術鑑賞」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(5) 真理の探究、創造】 28 鉄腕アトムをつくりたい ——人工知能研究は人間探究	人工知能研究にける筆者の経験や思いをつづった文章を通して、真理を探究する心について考えさせ、真理や真実を求め、好奇心をもって探究し続ける心情を育てる。	★真理を探究する心について、考えよう。 1 「人工知能」について意見交換をする。 2 「鉄腕アトムをつくりたい——人工知能研究は人間探究」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
1月	【B(9) 相互理解、寛容】 29 恩讐の彼方に	贖罪のために難事業に取り組む僧と、彼に復讐を企てる若者との葛藤を描いた小説を通して、寛容の心とはどんな心かについて考えさせ、人間のもつ醜さや乗り越え、「許す」ことの難しさを理解しようとする心情を育てる。	★丁海と美之助、それぞれの人物の視点を通して、人の心のあるようにについて、考えよう。 寛容の心とは、どんな心だろう。 1 誰かを許した経験や、許せなかった経験を振り返る。 2 「恩讐の彼方に」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【D(22) よりよく生きる喜び】 29 恩讐の彼方に	贖罪のために難事業に取り組む僧と、彼に復讐を企てる若者との葛藤を描いた小説を通して、自分の弱さや向き合うとはどういうことかを考えさせ、人間がもつ、苦しみや良心の責めと向き合いながら生きようとする心情を育てる。	★丁海と美之助、それぞれの人物の視点を通して、人の心のあるようにについて、考えよう。 自分の弱さや向き合うとは、どういうことだろう。 1 自分の弱さを感じた経験を振り返る。 2 「恩讐の彼方に」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。

月	内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ (★)・学習活動
2月	【C(18)国際理解、国際貢献】 30 希望の義足	ルワンダの内戦で負傷した人々に義足を提供するプロジェクトを立ち上げた吉田真美さんらの活動について書かれた文章を通して、他国の人と関わりながら生きていくのに大切なことは何かを考えさせ、他国の人々を尊重し、国際貢献に努めようとする実践意欲や態度を育てる。	★他国の人と関わりながら生きていくのに大切なことは、何だろう。 1 自分たちが知っている、国際協力の分野で活躍している日本人について挙げる。 2 「希望の義足」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(4)希望と勇気、克己と強い意志】 31 私の再出発	78歳で夜間学校に入学し、81歳で卒業した後でも学び続けようと決意する見目律子さんの作文を通して、自分を高めていくことについて考えさせ、目標をもって学び、困難を乗り越えて、よりよく生きていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★自分を高めていくことについて、考えよう。 1 自分は何のために学校に通っているか、考える。 2 「私の再出発」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【A(5)真理の探究、創造】 32 「学び」の本質を探ろう (まなびをプラス)	教科書に示された九つの問いをヒントに、他者と語り合うことを通して「学び」の本質を考えさせ、「学び」を探究することで人生を切り拓いて生きていこうとする判断力を育てる。	★「学び」の本質について友達といっしょに考え、自分の生き方を豊かにすることにつなげよう。 1 学ぶことについて、普段どのように思っているかを出し合う。 2 『学び』の本質を探ろう」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
	【D(19)生命の尊さ】 33 命と向き合う	生命誌研究者の中村桂子さんによる、命に関する文章を読み、話し合うことを通して、生命の尊さについて考えさせ、生命を尊ぶ実践意欲と態度を育てる。	★命の尊さについて、考えよう。 1 「生命の尊さ」についての、これまでの学びを振り返る。 2 「命と向き合う」を読んで考える。 3 「まなびの記録」に記入する。
3月	【内容項目を限定しない】 34 一年間の学びを振り返ろう	これまでに記入した「まなびの記録」や「手紙～拝啓 十五の君へ～」の歌詞をもとに、1年間の道徳で学んだことを振り返り、これからの自分の生き方について考えを深め、学んだことを生かしていこうとする実践意欲と態度を育てる。	★この1年間で学んだことを振り返ろう。 1 第1教材を見ながら、本時の目的を確認する。 2 「まなびの記録」を見返し、1年間の道徳の授業を振り返る。 3 未来の自分に手紙を書く。 ○次の「手紙～拝啓 十五の君へ～」の歌詞に込められた思いを想像しながら、自分が大切にしていきたいと思ったことを、未来の自分に伝える手紙に書きましょう。

令和7年度 総合的な学習の時間 年間指導計画 3 学年

1 学校の目標

- (1) 身近な地域社会や自然と直接触れ合いながら、主体的な課題設定を通して自己を見つめる能力を育成する。
- (2) 主体的な活動や体験的な活動を行い、さまざまな課題解決に協働的、かつ創造的に取り組みながら自分の良さに気づき、活かし、高め・深めながら、自分らしい生き方を考え、自己決定する力を育成する。
- (3) よりよい言語活動への意識を高め、自己表現力を磨き、情報処理能力を育てながら、コミュニケーション能力の基礎を培う。

2 第3学年のテーマ

○「公共・社会と私」

自己の生き方を考えさせ、自分の良さを高め、深めながら自分らしい進路選択ができる力を育てる。
社会の一員としての自覚を高め、公共・社会と自分との関わり、できることを考える。

月	単元	内容	時数
4	修学旅行事前学習	事前学習	4
5	修学旅行	修学旅行	10
6	修学旅行・事後学習	修学旅行・事後学習	4
7	進路学習のスタート	進路学習の見通しと目標	2
	高校の先生による講話・事前学習	事前学習・高校の先生による講話	2
9	進路学習	夏休みの上級学校情報の活用	1 2
10	進路学習	自己理解	2
11	進路学習	面接練習、マナー講習会 集団討論	5
12	進路学習	自己表現への取り組み 自己PR	3
1	進路学習	自己理解・自己表現活動	7
2			
3	「社会人の話を聞く会」への取組	講演会	2
	命のふれあい体験	乳幼児と母親との交流	2

計 46 時間

※単元や内容を変更する場合があります。

令和7年度 教科「日本語」年間指導計画 3 学年

1 学校の方針

- (1) 「哲学」では、人が生きることの意味、人と人とのつながりや自然とのかかわりなどについて考えたり話し合ったりすることを通して、すべての単元において、「豊かに論理的に、深く考える」学習を進めていく。
- (2) 「表現」では、自分の気持ちや考えを率直に表現することや、自分の決めたテーマについて調べたことを文章で表現すること、情報化社会の特質を理解して情報を発信することなどを通して、自分自身の思いや考えを「豊かに、論理的に表現する」学習を進めていく。
- (3) 「日本文化」では、私たちの日常生活の基盤である「衣」・「食」・「住」を中心に、身近な生活の中からいくつかの話題を取り上げ、日本の文化について調べたり考えたりする。そして、このことがこれからの生活を豊かにしていく契機となるよう学習を進めていく。

月	領域	単元	時数
4	哲学	人とかかわりについて考える	1
	哲学	「論理の力」を考える	1
5	日本文化	「住」ー住む すまいと日本の文化・自然 建築様式 内と外の境界 格子 木の命	3
6	表現	新聞の活用 メディアリテラシー3 投書を書こう	1
	哲学	生きることについて考える	1
7	日本文化	「技」ー作る 箸を作る	1
9	表現	自分についてよく伝えよう 面接編	2
	表現	講師によるマナー講習	3
11	表現	小論文を書こう・集団討論をしよう	4
12	日本文化	食事を豊かにする 食のしつらい	2
1	哲学	生きることについて考える 人生に答えを出した男の物語	1
	日本文化	未来に伝えていきたい日本の「食」 箸を使う	1
2	日本文化	外国人の見た日本 シュリーマンの見た日本	1
3	哲学	社会の一員としての自分の役割を考える 社会の一員としてできること	2

計 24 時間

※単元や内容を変更することがあります。

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【3年 国語科】担当：西城 有里加

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	○世界はうつくしいと ○握手 ○漢字に親しもう1	●表現方法、リズムなどに気を付けながら音読し、自分にとっての「うつくしいもの」について考える。作者の考えを読み取る。 ●会話やエピソードに着目して登場人物の心情や人物像を捉える。 ●熟語や言葉について学習する	知・技 (1) イ 思考・読む (1) ア イ	知識・技能 主体的に取り組む態度	○印象に残る表現を抜き出し、その効果や工夫について考えている。 ○表現に即して人物像を読み取っている。	プリント 授業観察
		○学びて時にこれを習う～『論語』から ○情報整理のレッスン ○意見を聞き、適切さを判断する ○文法 1	●孔子の見方、考え方を読み取り、自分に当てはめて考える。 ●「学ぶこと」の意味を考える。 ●編集された情報の信頼性を考える姿勢を養う。 ●単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。	知・技 (1) イ 思考・読む (1) エ	知識・技能 主体的に取り組む態度 書く	○漢文の読みの決まりを理解し、書き下し文にすることができている。 ○漢文特有の表現に慣れ、滑らかに音読することができている。 ○孔子の考え方に對する自分の考えをもてる。 ○情報の発信源、目的などの観点から情報の信頼性を確認することができている。 ○目的・相手・場面に応じて適切な文章を工夫している。 ○熟語の成り立ちや構成への理解を深めている。	プリント 授業観察 定期考査
	5 月	○説得力のある構成を考えよう ○作られた「物語」を超えて ○思考のレッスン ○論理の展開を意識して書こう ○漢字に親しもう2	●相手・場面・目的に合わせてふさわしいスピーチになるように、内容や順番、言葉遣いなどを考え、構成メモを作成する。 ●具体と抽象の関係の中にある論理の展開に注意しながら、筆者の主張を要約する。 ●ゴリラの事例を通して語られる人間の性質を捉える。 ●論理の展開に注意しながら、筆者の主張を要約する。 ●新出漢字への理解を深める。	知・技 (2) アエ 思考・読む (1) ア ウ 話す (1) アイ	知識・技能 読むこと 主体的に取り組む態度	○語句や論理の展開に即して自分なりに読み取ることができている。 ○自分の体験や知識、思いを材料にスピーチの話題を見つけ、構成を工夫してメモを作成することができている。 ○練習課題に積極的に取り組み、漢字の理解を深めている。 ○文法の知識を活かそうとしている。	プリント 授業観察 ワーク 定期考査
7 月	7 月	○俳句の可能性 ○俳句を味わう ○言葉の釣り糸を垂らす ○和語・漢語・外来語	●句に詠まれてい句に景を想像しながらそれぞれの俳句を理解する。 ●身の回りの風景や好きな季節などをテーマに俳句を作る。 ●日常生活での言葉の使い方を考える。 ●和語・漢語・外来語などを使い分けるところを通して、語感を磨く。	知・技 (1) イウ 思考・書く (1) イ ウ 読む (1) ウ (2) イウ	知識・技能 読むこと 主体的に取り組む態度	○俳句の約束事を理解し、句に込められた作者の思いや情景を読み味わいを深めている。 ○表現を工夫して自分の思いや感動を俳句に表現している。 ○日常の言語生活を振り返り、世代ごとの言葉の違いなど見つけようとしている。 ○進んで、和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして、相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。	プリント 授業観察 ワーク

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【3年 国語科】担当：西城 有里加

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	○故郷 ○論理の展開を整える ○慣用句・ことわざ・故事成語	●場面や登場人物の設定に着目して読み取り、人物の心情や関係の変化を時代背景と合わせて捉える。 ●目的や意図に応じた表現になっているかなどを確かめて、文章全体を整える。 ●様々な表現に対する理解を深める。	知・技 (1) イ 思考・読む (1) ア 聞く (1) エ	知識・技能 主体的に取り組む態度 書く	○場面や人物の心情を表す表現に着目し、審理を読み取っている。 ○関係の変化を示す表現を読み取っている。 ○情報と情報との関係についての知識を生かして、書き改めようとしている。 ○語彙を豊かにし、知識の幅を広げようとしている。	プリント 授業観察
	10 月	○聞き上手になろう ○挨拶 ○複数の意見を読んで、考えよう ○正解が一つに決まらない課題と向き合う ○考えを効果的に伝えよう	●話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価する。 ●語句や表現に込められた意味を読み取る。 ●要旨を捉え、筆者の主張や意見を根拠を考えて読み取る。 ●文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考える。 ●論理の展開を考えて文章を書く。	知・技 (1) イ 思考・読む (1) エ 書く (1) ア 話す (2) イ	知識・技能 主体的に取り組む態度 書く・話す	○話の展開を予測しながら積極的に聞き、今までの学習を生かして対談しようとしている。 ○比喩や象徴的な表現に着目し、筆者の思いを読み取っている。 ○二つの文章を比較して共通点や相違点を考え、それを基に考えを伝えようことができる。 ○判断や根拠を明らかにして説得力のある構成で批評を書いている。	プリント 授業観察 定期考査
11 月	11 月	○漢字に親しもう 3 ○文法への扉 2 ○初恋 ○和歌の世界～古今和歌集 ○君待つと～万葉・古今・新古今 ○夏草～「奥の細道」から	●新出漢字を確認する。 ●「ない」の文法上の違いを理解する。 ●七五調の文語定型詩の音読のリズムに慣れる。 ●歴史的仮名遣いに注意し、音読を通して古文の響きを味わう。 ●三大歌集の歌を比較し、時代による違いや表現を味わう。 ●江戸期の漢文調を交えた古文のリズムを味わう。 ●芭蕉の物の見方、感じ方を読み取る。	知・技 (3) ア 思考・読む (1) ウ	知識・技能 読むこと 主体的に取り組む態度	○古人の心情や情景を「読み取り、時代による表現の違いについて理解を深めている。 ○和歌に詠まれた内容について、自分の感じ方を示している。 ○日本の伝統的な知識を背景とした芭蕉の考え方を理解している。 ○冒頭の文章を音読、暗唱できる。、	プリント 授業観察 ワーク 定期考査
	12 月	○古典目一句・名言集 ○それでも、言葉を ○話し合いを効果的に進めよう ○合意形成に向けて話し合い ○漢字に親しもう 4	●資料集等を参照しながら自分の気に入った名句・名言を選んでいる。 ●文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 ●進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり、深めたりする。 ●ここまでで学習した漢字の復習を行う。	知・技 (1) イウ 思考・書く (1) ウ オ (2) ア 読む (1) ウ (2) イウ	知識・技能 読む・書く 主体的に取り組む態度	○古典の良さを味わい、楽しもうとしている。 ○筆者の主張を捉え、現代社会や生き方に対する自分の意見をもっている。 ○合意形成に向けて納得できる結論を出すために、提案の意義や実効性を検討したり、互いの発言を生かして話し合うことができる。 ○ここまでに学習した漢字の理解を確認し、練習問題等を行い、確実にしていくことができる。	プリント 授業観察 ワーク

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【3年 国語科】担当：西城 有里加

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名 (教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	○温かいスーパ ○アラスカとの出会い ○律儀な桜 ○わたしを束ねないで	●筆者の考える国際性とは何かを理解して、自分の考えをまとめる。 ●随筆を読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする。 ●詩に込められた作者の思いを読み取り、自分の意見を待つ。	知・技 (1) エ 思考・読む (1) エ	知識・技能 主体的に取り組む態度 読む	○人と人との関係を通して国際性と何かを読み取り、それについて自分の考えを伝える文章を書くことが出来る。 ○人間、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして文章にまとめようとしている。 ○効果的な語句の使い方や表現の工夫に着目して詩を味わっている。	プリント 授業観察
	2 月	○3年間の歩みを振り返ろう ○漢字に親しもう	●これまでの学校生活の経験や学習の内容を振り返り、冊子にまとめる。 ●まとめる観点を決め、内容を取捨選択する。 ●適切なコメントや編集後記を書いて仕上げる。	知・技 (1) イ 思考・読む (1) エ 書く (1) アイ	知識・技能 主体的に取り組む態度 書く	○3年間の学校生活の出来事や国語の学習から材料を集め、伝える目的を考えて攻勢を工夫している。	プリント 授業観察 作品集
	3 月	○学習をふりかえろう	●「1992年の秋空」「アイヌ民族：歴史と現在」を読んで、自分の学習課題を設定する。意見交流を通して自分の考えをまとめる。文章またはスピーチを行う。	知・技 (2) アエ 思考・読む・書く (1) アウ 話す (1) ア	知識・技能 読むこと 主体的に取り組む態度	○3年間で学習したことを活かし、自分で問題意識をもって文章を読んでいる。 ○学んだこと、読み取ったこと、考えたことを自分の今後につなげていこうとしている。	プリント 授業観察 定期考査 スピーチ・文集

令和7年度 年間指導計画・評価計画

【3年 社会科 歴史・公民】担当：漆沢伸一 中村均

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
4月	歴史 第6章 第1節	二つの世界大戦と日本 第一次世界大戦とその後の世界	第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、日本の大衆化などを通して、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解させる。	近代の日本と世界-オ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○第一次世界大戦の様子と戦後世界の変化について、資料から有用な情報を選択し、活用できる。 ○第二次世界大戦の終結までの日本の政治・外交の動き、中国などのアジア諸国との関係、欧米諸国の動き、戦時下の国民の生活などについて調べ、自分の考えを表現し発表している。	定期考査 ノート 課題
	4月	第6章 二つの世界大戦と日本 第2節 世界恐慌と日本の中国侵略	経済の世界的混乱と社会問題の発生、昭和初期から第二次世界大戦の終結までの我が国の政治・外交の動き、戦時下の国民の生活などを通して、郡部の台頭から戦争までの経緯と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる。 第二次世界大戦の原因や概要について理解させ、ヨーロッパとアジアの動きを比較しながら日本の動向を考えさせる。 第二次世界大戦後の、日本の民主化と再建、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら理解させる。	近代の日本と世界-カ 現代の日本と世界-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○当時の日本の政府や軍部の主張などを批判的に読むなど、公正な立場で考え、自分の意見を述べている。 ○終戦から現代に至るまでの流れや、日本や世界の抱える将来の課題を理解している。	定期考査 ノート 課題
5月	歴史 第3章 第3節	二つの世界大戦と日本 第二次世界大戦と日本	第二次世界大戦の原因や概要について理解させ、ヨーロッパとアジアの動きを比較しながら日本の動向を考えさせる。	近代の日本と世界-カ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○当時の日本の政府や軍部の主張などを批判的に読むなど、公正な立場で考え、自分の意見を述べている。 ○終戦から現代に至るまでの流れや、日本や世界の抱える将来の課題を理解している。	定期考査 ノート 課題
	5月	第6章 現代の日本と世界 第1節 戦後の日本と世界	第二次世界大戦後の、日本の民主化と再建、国際社会への復帰について、世界の動きと関連させながら理解させる。	近代の日本と世界-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○終戦から現代に至るまでの問題や、日本や世界の抱える将来の課題を理解している。 ○冷戦、日本の民主化の過程、国際社会への復帰など、現代の歴史的事象に対する関心を高め、意欲的に追求して現代の特色を捉えようとしている。	定期考査 ノート 課題
6月	第6章 現代の日本と世界 第2節 冷戦下の世界と日本の経済成長	冷戦下の世界と日本の経済成長	第6章 現代の日本と世界 第2節 冷戦下の世界と日本の経済成長	現代の日本と世界-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○現代社会における文化の意義や影響、現代社会の特徴である少子高齢化、情報化、グローバル化などの変化を具体的な事象とともに理解している。 ○現代社会の課題を解決するための見方・考え方を理解するとともに、自分の生活に活かそうとしている。	定期考査 ノート 課題
	公民 第1章 現代社会と私たちの生活	現代社会と私たちの生活	少子高齢化、グローバル化、情報化など、現代社会の特色を理解させ、それらが政治、経済、国際関係に影響を与えていることに気づかせる。 現代社会の課題を解決するための見方・考え方を理解させる。	私たちと現代社会 -ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○現代社会における文化の意義や影響、現代社会の特徴である少子高齢化、情報化、グローバル化などの変化を具体的な事象とともに理解している。 ○現代社会の課題を解決するための見方・考え方を理解するとともに、自分の生活に活かそうとしている。	定期考査 ノート 課題
7月	公民 第2章 個人の尊重と日本国憲法 第1節 人権と日本国憲法	個人の尊重と日本国憲法 人権と日本国憲法	日本国憲法の制定の経緯について、大日本帝国憲法と比較させながら、日本国憲法の基本原則を中心に理解させる。	私たちと政治-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○日本国憲法の基本原則に関わる諸課題について、そのあらましや解決への方向性を、日本国憲法の規定を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	定期考査 ノート 課題
	公民 第2章 個人の尊重と日本国憲法 第2節 人権と共生社会	個人の尊重と日本国憲法 人権と共生社会	日本国憲法に定められている基本的人権の種類やその内容について、具体的な事例を通して理解させる。	私たちと政治-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○日本国憲法に定められた基本的人権について、具体的な生活と関連づけて理解するとともに、自由・権利と責任・義務の関係を社会生活の基本として広い視野から正しく認識し、知識を理解している。	定期考査 ノート 課題

令和7年度年間指導計画・評価計画

【3年 社会科 歴史・公民】担当：漆沢伸一 中村均

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名 (教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	公民 第2章 3節 個人の尊重と日本国憲法 これからの人権保障	インターネットと人権との関係や人権保障の国の役割などについて、統計資料や新聞記事などを適切に選択させ、現状と課題を読み取らせるとともに、その解決策について多面的・多角的に考えさせる。	私たちと政治-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○社会の変化に伴って生じた人権上の新しい課題について、対立と合意、効率と公正などの観点から多面的・多角的に考察している。	定期考査 ノート 課題
	10 月	公民 第3章 1節 現代の民主政治と社会 2節 国の政治の仕組み 3節 地方自治と私たち	政党の役割や選挙制度、世論などの政治参加の方法について多面的・多角的に考察させ、望ましい政治参加の在り方を考えさせる。また、国会・内閣・裁判所の地位や役割、相互関係のあり方を理解させる。地方自治が直接請求という直接民主制の方法を導入している理由について、国と地方公共団体の比較を通して多面的・多角的に考察させるとともに、主権者としての政治参加の在り方について考えさせる。	私たちと政治-イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○選挙をはじめとする国民の政治参加が民主政治を支えていることに気づき、望ましい政治参加の在り方について、資料の読み取りや話し合いなどを通して多面的・多角的に考察し、自分の考えを分かりやすく表現している。 ○住民自治や地方分権の考え方について、既習事項を踏まえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	定期考査 ノート 課題
	11 月	公民 第4章 1節 私たちの暮らしと経済 2節 消費生活と経済 3節 生産と労働 価格の働きと金融	身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、社会における企業の役割と責任について考えさせる。その際、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神と関連付けて考えさせる。身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解させるとともに、価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。また、現代の金融などの仕組みや働きを理解させる。	私たちと経済-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○身近な事例を基に、消費や企業の生産活動、労働、生産と金融の仕組みや働きについて理解するとともに、市場経済の基本的な考え方を身に付け、その考え方を活用して経済的事象を捉えている。○身近な事例を基に、消費や企業の生産活動、労働、生産と金融の仕組みや働きについて理解するとともに、市場経済の基本的な考え方を身に付け、その考え方を活用して経済的事象を捉えている。	定期考査 ノート 課題
	12 月	第4章 4節 私たちの暮らしと経済 5節 政府の役割と国民福祉 これからの経済と社会	国民の生活と福祉の向上を図るために、社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、社会保険の充実、消費者の保護など、市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割について考えさせる。また、財源の確保と配分という観点から財政の役割について考えさせる。その際、租税の意義と役割について考えさせるとともに、国民の納税の義務について理解させる。	私たちと経済-イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○国民の生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について、財源の確保と配分や、対立と合意、効率と公正などの観点から、判断している。 ○公営住宅の増加や少子高齢化社会における社会保障のあり方など、財政上の課題のあり方について理解している。 ○政府の経済的な役割などについて関心をもち、経済に関する諸課題について意欲的に追求している。	定期考査 ノート 課題

令和7年度年間指導計画・評価計画

【3年 社会科 歴史・公民】担当：漆沢伸一 中村均

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	公民 第5章 1節 地球社会と私たち 国際社会の仕組み	世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力、各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを認識させ、国際社会における我が国の役割について考えさせる。	私たちと国際社会の諸課題-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○国際社会の抱える諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追求し、より良い地球社会を築くための解決策について考え続けようとする態度が見られる。 ○世界平和の実現と人類の福祉の増大の観点から、国家相互の主権の尊重、各国民の相互理解と協力の重要性について理解している。	定期考査 ノート 課題
	2 月	公民 第5章 2節 地球社会と私たち さまざまな国際問題	地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解させる。	私たちと国際社会の諸課題-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○国際社会の現状や諸課題に関するさまざまな資料かた学習に役立つ情報を適切に選択し、的確に取り図表などにまとめたりしている。	定期考査 ノート 課題
	3 月	公民 第5章 3節 地球社会と私たち これからの地球社会と 日本	持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究させ、自分の考えをまとめさせる。	私たちと国際社会の諸課題-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に取り組む態度	○国際社会の諸課題やその解決への取り組みについて考察し、課程や結果を適切に表現したり、発表をとおして考えを深めたりしている。	定期考査 ノート 課題

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【3年 数学科】 担当：望月 亘

指導の観点：◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度

期 月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
4月	1章 式の展開と因数分解 1節 式の展開と因数分解 ①式の乗法・除法 ②乗法の公式 ③因数分解 2節 式の計算の利用	①単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式でわる除法の計算をすることができる。 ②簡単な1次式の乗法の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。 ③既習の計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解をする方法を考察し表現することができる。 ④文字を用いた式で数量及び数量の関係の捉え説明することができる。	A数と式(2) ア(ア) ア(イ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。 ◇簡単な1次式の乗法の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。 ◇既習の計算の方法と関連付けて、式の展開や因数分解をする方法を考察し表現することができる。 ◇文字を用いた式で数量及び数量の関係の捉え説明することができる。 ◇式の展開や因数分解をすることの必要性や意味を考えたようにしている。 ◇学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ◇問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	授業観察 プリント課題 問題集課題 確認テスト 観点別単元テスト 定期考査 自己評価シート
	2章 平方根 1節 平方根 ①平方根 ②平方根の値 ③有理数と無理数 ④真の値と近似値 2節 根号をふくむ式の計算 3節 平方根の利用	①数の平方根の必要性と意味を理解することができる。 ②数の平方根を含む簡単な式の計算をすることができる。 ③具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。 ④既習の計算の方法と関連付けて、数の平方根を含む式の計算の方法を考察し表現することができる。 ⑤数の平方根を具体的な場面で活用することができる。	A数と式(1) ア(ア) ア(イ) ア(ウ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇平方根の必要性と意味を理解している。 ◇有理数、無理数の意味を理解している。 ◇平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができる。 ◇具体的な場面で平方根を用いて表したり処理したりすることができる。 ◇既習の文字式の計算などと関連付けて、平方根をふくむ式の計算の方法を考察し表現することができる。 ◇平方根を具体的な場面で活用することができる。 ◇平方根の必要性や意味を考えようとしている。 ◇学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ◇問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
5月	3章 2次方程式 1節 2次方程式 ①2次方程式とその解き方 ②2次方程式の解の公式 ③2次方程式と因数分解 2節 2次方程式の利用	①2次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解することができる。 ②因数分解したり平方の形に変形したりして2次方程式を解くことができる。 ③解の公式を理解し、それを用いて2次方程式を解くことができる。 ④因数分解や平方根の考えを基にして、2次方程式を解く方法を考察し表現すること。 ⑤2次方程式を具体的な場面で活用することができる。	A数と式(3) ア(ア) ア(イ) ア(ウ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇2次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。 ◇平方の形に変形し2次方程式を解くことができる。 ◇解の公式の意味を理解し、それを用いて2次方程式を解くことができる。 ◇因数分解を利用して2次方程式を解くことができる。 ◇事象の中の数量やその関係に着目し、2次方程式をつくることができる。 ◇平方根や因数分解の考えをもとにして、2次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ◇具体的な問題の解決に2次方程式を活用し、解が適切であるかどうかを判断することができる。 ◇2次方程式の必要性と意味を考えようとしている。 ◇学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ◇問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	授業観察 プリント課題 問題集課題 確認テスト 観点別単元テスト 定期考査 自己評価シート
6月						
7月						

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【3年 数学科】 担当：望月 亘

指導の観点：◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2学期	9月	4章 関数y=ax ² 1節 関数y=ax ² とグラフ ①関数y=ax ² について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解することができる。 2節 関数y=ax ² の値の変化 ①関数y=ax ² の値の増減と変域 ②関数y=ax ² の増減の割合 3節 いろいろな事象と関数の利用 ①関数y=ax ² の利用 ②いろいろな関数の利用	①事象の中には関数y=ax ² として捉えられるものがあることを理解することができる。 ②関数y=ax ² について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解することができる。 ③関数y=ax ² を用いて具体的な事象を捉え説明することができる。 ④いろいろな事象の中に、関数関係があることを理解することができる。	C関数 (1) ア(ア) ア(イ) ア(ウ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇関数y=ax ² について理解している。 ◇関数y=ax ² と捉えられる事象を知っている。 ◇関数y=ax ² を表、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 ◇事象の中に、関数関係があることを理解している。 ☆関数y=ax ² と捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見いだし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ☆関数y=ax ² を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 ○関数y=ax ² の必要性と意味を考えようとしている。 ○関数y=ax ² を生活や学習に生かそうとしている。 ○関数y=ax ² の増減を振り返って検討しようとしている。	授業観察 プリント課題 問題集課題 確認テスト 観点別単元テスト 定期考査 自己評価シート
	10月	5章 図形と相似 1節 図形と相似 ①相似な図形 ②三角形の相似条件 ③三角形の相似条件と証明 2節 平行線と線分の比 ①平行線と線分の比 ②中点連結定理 3節 相似な図形の計量 ①相似な図形の面積・体積 ②相似な図形の面積・体積 4節 相似の利用	①平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件を理解することができる。 ②三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ③平行線と線分の比についての性質を見だし、それを確かめることができる。 ④基本的な立体的な図形の相似の意味と、相似な図形の相似比と面積比及び体積比について理解することができる。 ⑤相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。	B図形 (1) ア(ア) ア(イ) イ(ア) イ(イ) イ(ウ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。 ◇相似な平面図形の相似比と面積比の関係について理解している。 ◇基本的な立体的な図形の相似の意味を理解し、相似な立体的な図形の相似比と体積比の関係について理解している。 ◇長さ、有効数字の意味を理解し、近似値をa×10 ⁿ の形で表現することができる。 ☆三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。 ☆平行線と線分の比についての性質を見だし、それらを具体的な場面で活用することができる。 ○図形の相似の意味や、相似な図形の相似比と面積比や体積比の関係を考えようとしている。 ○関数y=ax ² を生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
2学期	11月	6章 円の性質 1節 円周角と中心角 ①円周角と中心角 ②円周角の定理の逆 2節 円の性質の利用	①円周角と中心角の関係を理解し、それが証明できることを知る。 ②円周角と中心角の関係を思いだすことができる。 ③円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。	B図形 (2) ア(ア) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇円周角と中心角の関係を理解し、それが証明できることを知っている。 ◇円周角の定理の逆が成り立つことを知っている。 ☆円周角と中心角の関係を思いだすことができる。 ☆円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。 ○円周角と中心角の関係を思いだそうとしている。 ○円周角と中心角の関係を思いだそうとしている。 ○関数y=ax ² を生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	授業観察 プリント課題 問題集課題 確認テスト 観点別単元テスト 定期考査 自己評価シート
	12月	7章 三平方の定理 1節 直角三角形の3辺の関係 ①三平方の定理 2節 三平方の定理の利用 ①平面における線分の長さや面積 ②空間における線分の長さや体積	①三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知る。 ②三平方の定理を思いだすことができる。 ③三平方の定理を具体的な場面で活用すること。	B図形 (3) ア(ア) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇三平方の定理の意味を理解し、それが証明できることを知っている。 ◇三平方の定理を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる。 ◇三平方の定理の逆が成り立つことを知っている。 ☆三平方の定理を思いだすことができる。 ☆三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。 ○三平方の定理を思いだそうとしている。 ○三平方の定理を思いだそうとしている。 ○関数y=ax ² を生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【3年 数学科】 担当：望月 亘

指導の観点：◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
		8章 標本調査とデータの活用 1節 標本調査 ①標本調査の方法 ②母集団と標本の関係 ③データを活用して問題を解決しよう	①標本調査の必要性和意味を理解することができる。 ②コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。 ③標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。 ④簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。	Dデータの活用 (1) ア(ア) ア(イ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇標本調査の必要性和意味を理解している。 ◇コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。 ☆標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。 ☆簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向を推定し判断することができる。 ○標本調査の必要性和意味を考えようとしている。 ○学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	
	1月						
		復習演習 総合演習 発展学習 A 数と式 B 図形 C 関数 D データの活用 数学的活動	①第3学年で学習した単元の内容についての理解の程度を問題演習の形式で確認し、学び直す。 ②第3学年で学習した単元の内容をもとにした総合的な問題を解決することで、思考力・判断力・表現力を養う。 ③第3学年で学習した単元の内容をもとにした発展的な問題に小集団で取り組み、協働して問題を解決することができる。 ④日常の事象や社会の事象を数理的に捉え、数学的に表現・処理し、解決の過程や結果を振り返って考察することができる。 ⑤数学の事象から見通しをもって問題を見いだし解決したり、解決の家庭や結果を振り返って総合的・発展的に考察することができる。 ⑥数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合うことができる。	A(1) ア(ア)～(ウ) イ(ア)～(イ) A(2) ア(ア)～(イ) イ(ア)～(イ) B(1) ア(ア)～(イ) イ(ア)～(ウ) B(2) ア(ア)～(イ) イ(ア)～(イ) B(3) ア(ア)～(イ) イ(ア)～(イ) C(1) ア(ア)～(ウ) イ(ア)～(イ) D(1) ア(ア)～(イ) イ(ア)～(イ) 数学的活動 ア～ウ	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現	◇数の平方根、多項式と二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y=ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ◇事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。 ☆数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察することができる。 ☆図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現することができる。 ☆関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。 ☆標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりすることができる。 ☆数学の事象や日常の事象から見通しをもって問題を解いたり、解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察することができる。 ○数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしている。 ○問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 ○多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしている。	授業観察 自己評価シート プリント課題 問題集課題 単元確認テスト 学習調査 定期考査
	2月						
3学期	3月						

令和7年度 年間指導計画・評価計画【3年 理科】 担当：下出・村田

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
	4月	単元3 第1章 運動とエネルギー 物体の運動	物体に力がはたらく運動および力がはたらかない運動についての観察、実験を通して、物体の運動には速さと向きがあること、力がはたらく運動では運動の向きや時間の経過にともなう物体の速さが変わることを、および、力がはたらかない運動では物体は等速直線運動することを理解して理解する。 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。	◆1分野(5)ア(イ)① ④、イ ◆2分野(6)ア(イ)①、イ ◆2分野(6)ア(ア)⑦、イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・運動には速さと向きがあることを理解している。 ・記録タイマーを用いて物体の速さを求められる。 ・物体の運動について問題を思いだし、運動の関係を調べる実験を行って、 ・点の軌跡を記録から、太陽が球形で自転していることを考え、まとめ、表現している。 ・日周運動と自転、年周運動と公転について理解し、観察や実験の基本的な技能を身に付けている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元4 第1章 地球と宇宙 地球の動きと天体の動き	物体の運動と力のはたらき方が関係する状況の観察、実験を通して、力のつり合いと合成・分解や、物体にはたらく力と物体の運動の規則性や関係性、水中の物体にはたらく力を理解する。 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。	◆1分野(5)ア(イ)① ④、イ ◆1分野(5)ア(ア)④、イ ◆1分野(5)ア(ア)⑦、イ ◆2分野(6)ア(ア)④、イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・合力・分力の実験や作図をすることができ、 ・実験を見通しをもって行い、その結果を分析して合力の規則性を見いだして表現している。 ・物体に働く水圧・浮力について規則性やそれを調べる実験の技能を身に付けている。 ・水圧・浮力に関する事象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。 ・日周運動と自転、年周運動と公転について理解し、観察や実験の基本的な技能を身に付けている。 ・四季の星座の変化に関心をもち、星座の変化や太陽の動きについて地球の動きと関連付けて科学的に探究しようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
	5月	単元3 第2章 運動とエネルギー 物体の運動 力のはたらき方	仕事に関する観察、実験を通して、仕事と仕事率について、また、力学的エネルギーは物体がほかの物体になしうる仕事ではかれること、運動エネルギーと位置エネルギーは相互に移り変わることを、力学的エネルギーの総量は保存されることを見いだして理解する。 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。	◆1分野(5)ア(イ)① ④、イ ◆1分野(5)ア(イ)⑦、イ ◆2分野(6)ア(ア)④、イ ◆2分野(6)ア(イ)⑦、イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・仕事・仕事率について理解している。 ・力学的エネルギーについて実験の結果を分析し、規則性を見いだして表現している。 ・力学的エネルギーに関する事象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。 ・月の満ち欠けについて太陽と月、地球の位置や月の公転などに関連付けて考え、表現している。 ・金星の満ち欠けについて太陽と金星、地球の位置や金星の公転などに関連付けて考え、表現している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元4 第2章 地球と宇宙 月と金星の見え方	仕事に関する観察、実験を通して、仕事と仕事率について、また、力学的エネルギーは物体がほかの物体になしうる仕事ではかれること、運動エネルギーと位置エネルギーは相互に移り変わることを、力学的エネルギーの総量は保存されることを見いだして理解する。 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。	◆1分野(5)ア(イ)① ④、イ ◆1分野(5)ア(イ)⑦、イ ◆2分野(6)ア(ア)④、イ ◆2分野(6)ア(イ)⑦、イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・仕事・仕事率について理解している。 ・力学的エネルギーについて実験の結果を分析し、規則性を見いだして表現している。 ・力学的エネルギーに関する事象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。 ・月の満ち欠けについて太陽と月、地球の位置や月の公転などに関連付けて考え、表現している。 ・金星の満ち欠けについて太陽と金星、地球の位置や金星の公転などに関連付けて考え、表現している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
	6月	単元3 第3章 運動とエネルギー 仕事 エネルギーと仕事	仕事に関する観察、実験を通して、仕事と仕事率について、また、力学的エネルギーは物体がほかの物体になしうる仕事ではかれること、運動エネルギーと位置エネルギーは相互に移り変わることを、力学的エネルギーの総量は保存されることを見いだして理解する。 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。	◆1分野(5)ア(イ)① ④、イ ◆1分野(5)ア(イ)⑦、イ ◆2分野(6)ア(ア)④、イ ◆2分野(6)ア(イ)⑦、イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・仕事・仕事率について理解している。 ・力学的エネルギーについて実験の結果を分析し、規則性を見いだして表現している。 ・力学的エネルギーに関する事象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。 ・月の満ち欠けについて太陽と月、地球の位置や月の公転などに関連付けて考え、表現している。 ・金星の満ち欠けについて太陽と金星、地球の位置や金星の公転などに関連付けて考え、表現している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元4 第3章 地球と宇宙 宇宙の広がり	仕事に関する観察、実験を通して、仕事と仕事率について、また、力学的エネルギーは物体がほかの物体になしうる仕事ではかれること、運動エネルギーと位置エネルギーは相互に移り変わることを、力学的エネルギーの総量は保存されることを見いだして理解する。 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。	◆1分野(5)ア(イ)① ④、イ ◆1分野(5)ア(イ)⑦、イ ◆2分野(6)ア(ア)④、イ ◆2分野(6)ア(イ)⑦、イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・仕事・仕事率について理解している。 ・力学的エネルギーについて実験の結果を分析し、規則性を見いだして表現している。 ・力学的エネルギーに関する事象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。 ・月の満ち欠けについて太陽と月、地球の位置や月の公転などに関連付けて考え、表現している。 ・金星の満ち欠けについて太陽と金星、地球の位置や金星の公転などに関連付けて考え、表現している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
	7月	単元3 第4章 運動とエネルギー 仕事 エネルギーと仕事	仕事に関する観察、実験を通して、仕事と仕事率について、また、力学的エネルギーは物体がほかの物体になしうる仕事ではかれること、運動エネルギーと位置エネルギーは相互に移り変わることを、力学的エネルギーの総量は保存されることを見いだして理解する。 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。	◆1分野(5)ア(イ)① ④、イ ◆1分野(5)ア(イ)⑦、イ ◆2分野(6)ア(ア)④、イ ◆2分野(6)ア(イ)⑦、イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・仕事・仕事率について理解している。 ・力学的エネルギーについて実験の結果を分析し、規則性を見いだして表現している。 ・力学的エネルギーに関する事象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。 ・月の満ち欠けについて太陽と月、地球の位置や月の公転などに関連付けて考え、表現している。 ・金星の満ち欠けについて太陽と金星、地球の位置や金星の公転などに関連付けて考え、表現している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元4 第4章 地球と宇宙 宇宙の広がり	仕事に関する観察、実験を通して、仕事と仕事率について、また、力学的エネルギーは物体がほかの物体になしうる仕事ではかれること、運動エネルギーと位置エネルギーは相互に移り変わることを、力学的エネルギーの総量は保存されることを見いだして理解する。 身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、月や金星の運動と見え方についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。	◆1分野(5)ア(イ)① ④、イ ◆1分野(5)ア(イ)⑦、イ ◆2分野(6)ア(ア)④、イ ◆2分野(6)ア(イ)⑦、イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・仕事・仕事率について理解している。 ・力学的エネルギーについて実験の結果を分析し、規則性を見いだして表現している。 ・力学的エネルギーに関する事象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。 ・月の満ち欠けについて太陽と月、地球の位置や月の公転などに関連付けて考え、表現している。 ・金星の満ち欠けについて太陽と金星、地球の位置や金星の公転などに関連付けて考え、表現している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査

令和7年度 年間指導計画・評価計画【3年 理科】 担当：下出・村田

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
9月		単元2 第1章 生命の連続性 生物の成長と生殖	生物の成長とふえ方に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長とふえ方について理解する。	◆2分野(5)ア(ア)⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・プレパラートを作成し、目的の細胞を観察・記録することができる。 ・生物の成長は体細胞分裂が関係することを言いだし、表現できる。 ・原子の成り立ちとイオンについて基本的な概念や原理、法則などを理解している。 ・水溶液とイオンについて見通しをもって実験を行い、化学変化における規則性や関係性を見いだして表現している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元1 第1章 化学変化とイオン 水溶液とイオン	水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を通して、水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見いだして理解する。また、電解質水溶液に電圧をかけ電流を流す実験を通して、電極に物質が生成することからイオンの存在を知るとともに、イオンの生成が原子の成り立ちと関係することを知る。	◆1分野(1)ア(ア)⑦, イ ◆1分野(6)ア(ア)⑦, イ			
		単元2 第1章 生命の連続性 生物の成長と生殖 第2章 遺伝の規則性と遺伝子	生物の成長とふえ方に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の成長とふえ方について理解する。 遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の特徴に着目しながら、遺伝の規則性と遺伝子について理解する。	◆2分野(5)ア(ア)⑦, イ ◆2分野(5)ア(イ)⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・それぞれの細胞分裂について理解している。 ・生物の殖え方に関心をもち、意欲的に探究しようとしている。 ・遺伝の仕組み、規則性を理解し、遺伝子の組み合わせや比を表現できる。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
10月		単元1 第1章 化学変化とイオン 水溶液とイオン 第2章 酸、アルカリとイオン	酸とアルカリの性質を調べる実験を通して、酸とアルカリのそれぞれの特性が水素イオンと水酸化物イオンによることを知る。また、中和の実験を通して、酸とアルカリを混ぜると水と塩が生成することを理解する。	◆1分野(6)ア(ア)⑦, イ ◆1分野(6)ア(イ)⑦, イ		・酸とアルカリ、中和と塩について理解している と共に、科学的に探究するために必要な観察、実験の操作などの技能を身に付けている。	
		単元2 第2章 生命の連続性 遺伝の規則性と遺伝子	遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象の特徴に着目しながら、遺伝の規則性と遺伝子について理解する。	◆2分野(5)ア(イ)⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・形質遺伝を受精や減数分裂と関連付けて考え、表現している。 ・遺伝子やDNAと日常生活との関係について調べようとしている。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元1 第2章 化学変化とイオン 酸、アルカリとイオン 第3章 化学変化と電池	金属を電解質水溶液に入れる実験を通して、金属によってイオンへのなりやすさが異なることを見いだして理解する。また、電解質水溶液と2種類の金属などを用いた実験を通して、電池の基本的なしくみを理解するとともに、化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを知る。	◆1分野(6)ア(イ)⑦, イ ◆1分野(6)ア(イ)④, イ		・金属イオン、化学変化と電池についての基本的な概念などを理解すると共に、実験などに関する操作や記録などの技能を身に付けている。	
11月		単元2 第3章 生命の連続性 生物の多様性と進化	生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の種類の多様性と進化について理解する。	◆1分野(5)ア(ア)④, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・生物の進化の概念を理解している。 ・これまでに学習したことを整理し、進化の方向性について考えをまとめ、表現している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元1 第3章 化学変化とイオン 化学変化と電池	金属を電解質水溶液に入れる実験を通して、金属によってイオンへのなりやすさが異なることを見いだして理解する。また、電解質水溶液と2種類の金属などを用いた実験を通して、電池の基本的なしくみを理解するとともに、化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることを知る。	◆1分野(6)ア(イ)⑦, イ ◆1分野(6)ア(イ)④, イ		・化学変化と電池に関する事物、事象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。 ・電子が電極における電子の授受によって外部に電流を取り出し出ていることを見いだし、イオンと関連付けて表現している。	

令和7年度 年間指導計画・評価計画【3年 理科】 担当：下出・村田

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	単元5 ために 第1章 地球と私たちの未来の 自然のなかの生物	日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについて理解する。	◆2分野(7)ア(ア) ⑦, イ ◆2分野(7)ア(ア) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・消費者、生産者、食物連鎖などについて理解し、知識を身に付けている。 ・食物連鎖と個体数など関係をまとめ、表現している。 ・日常生活や社会と関連付けながら、エネルギーとその資源や利用などについて理解している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元5 ために 第3章 地球と私たちの未来の 科学技術と人間	人間は水力、火力、原子力、太陽光などからエネルギーを得ていることを知り、エネルギー資源の有効な利用が大切であることを認識する。また、日常生活では、様々な物質が幅広く利用されていることを理解する。	◆1分野(7)ア(ア) ⑦, イ			
		単元5 ために 第2章 地球と私たちの未来の 自然のなかの生物 自然環境の調査と保全	日常生活や社会と関連づけながら、自然界のつり合いについて理解する。 日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の調査と環境保全について理解する。	◆2分野(7)ア(ア) ⑦, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・微生物の働きを知り、物質の循環について理解し、知識を身に付けている。 ・自然環境の調査を行い、異なる場所における自然環境の特徴を調べ、結果を科学的に分析して表している。 ・科学技術の発展に関する事例などについて調べ、科学技術が人間の生活を豊かにしてきたことについて自分の考えをまとめて表現している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
3 学期	2 月	単元5 ために 第3章 地球と私たちの未来の 科学技術と人間 地域とつながる	科学技術の発展の過程を知るとともに、科学技術が人間の生活を豊かで便利にしていることを認識する。	◆1分野(7)ア(ア) ④, イ			
		単元5 ために 第2章 地球と私たちの未来の 自然環境の調査と保全	日常生活や社会と関連づけながら、自然環境の調査と環境保全について理解する。	◆1分野(7)ア(ア) ④, イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・自然環境の保全のために、自然を保護したり、共生したりする仕組みについて理解している。	行動観察 実験プリント ワークシート ノート提出 小テスト 定期考査
		単元5 ために 終章 地球と私たちの未来の 持続可能な社会をつくる	日常生活と社会とを関連づけながら、科学技術が人々の生活を豊かにし、人間の経済活動が環境に変化をもたらしていることを理解するとともに、持続可能な社会をつくることが重要であることを認識する。	◆1分野(7)ア(イ) ⑦, イ ◆2分野(7)ア(イ) ⑦, イ		・自然環境の保全と科学技術の利用に関する事象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【3年 音楽科】 担当：樋口絃子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	心の歌 【花】	歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を味わい、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。	歌唱・ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しむ主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート
		歌舞伎	歌舞伎の特徴を感じ取りながら、舞台芸術を楽しむ 長唄の特徴をとらえて表現・鑑賞し、よさを味わう	鑑賞・ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 音色、リズム、速度、旋律を知覚し曲や演奏の評価と根拠を考え、美しさを味わって聴いている。	定期考査 ワークシート
	6 月	ボレロ 合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】	音楽の特徴や音楽を形づくっている要素や、構造と曲想とのかかわり、背景などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。 パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	鑑賞・ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、曲や演奏の評価と根拠を考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 音色、リズム、旋律、強弱を知覚し、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しむながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	実技試験 観察 ワークシート 定期考査
	7 月	合唱コンクール課題曲・自由曲					観察 ワークシート

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【3年 音楽科】 担当：樋口紘子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】	パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付けている。 音色、リズム、速度、旋律、強弱を感覚し、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	観察 ワークシート
	10 月	合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】 音楽と曲想とのかかわり 『ボレロ』	音楽の特徴や音楽を形づくっている要素や、構造と曲想とのかかわり、背景などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 音色、リズム、速度、旋律、テクニクス、強弱、形式、構成を感覚し、曲や演奏の評価と根拠を考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。	観察 ワークシート
	11 月	帰れソレントへ ボピュラー音楽	曲想を味わい、言葉の特性を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 様々なボピュラー音楽の特徴や背景をとらえることで音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。	歌唱-ア・イ 鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 日本歌曲との発声・発音の違いを理解し、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付けている。 音色、リズム、速度、旋律、強弱を感覚し、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 音色、リズム、速度、旋律、テクニクス、強弱、形式、構成に対する評価とそれの根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 音楽の特徴と背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験 観察 ワークシート 実技 定期考査
1 2 月		能【敦盛】	雅楽や能の音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、音楽を形づくっている要素などから理解して、そのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 音色、リズム、速度、旋律、テクニクス、強弱、形式、構成を感覚し、曲や演奏に対する評価とそれの根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 音楽の特徴と背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【3年 音楽科】 担当：樋口絃子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	世界の諸民族の音楽	世界の諸民族の音楽の特徴や背景をとらえることと音楽の多様性を理解し、そのよさや美しさを味わいながら聴く。	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	観察 ワークシート
	2・3 月	きもととともに 国歌【君が代】 卒業式式歌【曲目未定】 歌唱実技試験	歌詞の内容や曲想を味わい、言葉と旋律とのかかわりやパートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付けている。 音色、リズム、速度、旋律、テクニクス、強弱、形式、構成を知覚し、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【3年 美術科】 担当：野村 洋二

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	イラストレーション 京都・奈良（修学旅行）を主題に表現方法を工夫した画面構成を考える	身近な生活の中にある「イラストレーション」の多様な表現方法を理解活用し表現の幅を広げる。 修学旅行の事前学習と関連させ古から続く文化に関わる視点をなくむ 様々な表現方法の基本的理解と描画法の習得	共通事項(1)・(3) B 鑑賞(1) A 表現(2)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	美術文化についての理解を深め視野を広げる 様々な表現（イラストレーション）についての理解と表現	授業観察
	5 月	イラストレーション 制作	発想・表現方法の基礎的理解と表現の実際 多様な表現方法から自己の作品としての表現へとつなげ作品に生かす	A 表現(1)(2) A 表現(1)(2)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	様々な表現方法があることを学び、主題を生かせるように工夫しながら作品のなかに表現できるように制作を進める	作品評価 授業観察
	6 月	鑑賞 「東大寺」 定期試験	創建当時と今見られるものとの違いや時代背景等を理解し自分の考えを文章として表現する 学習事項の習得と確認	B 鑑賞 A 表現(1)(2) 共通事項(1)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	東大寺・大仏について学び、歴史的意義や現代で見学する寺社との違いについて考える 一学期に学習したことまとめ	レポート 授業観察 定期試験
	7 月	イラストレーション 制作		A 表現	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	様々な表現方法があることを学び、主題を生かせるように工夫しながら作品のなかに表現できるように制作を進める	授業観察 作品評価

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【3年 美術科】 担当：野村 洋二

期	月	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	木彫（レリーフ） 修学旅行の事前学習と関連させ古から続く文化に関わる視点をはぐくむ 参考作品や調べ学習により木彫についての知識理解を深め、作品に生かす	共通事項(1)・(3) B 鑑賞(1) A 表現	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	木彫についての基礎理解と表現 レリーフ表現 木材の特徴や彫刻刀の扱い 手順についての理解	作品評価 授業観察
	10 月	木彫制作	A 表現 B 鑑賞 A 表現	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	彫刻刀を使い分けレリーフ表現にいかすことができたか 木材の特徴を理解し個性豊かな彫刻表現をする	作品評価 授業観察
	11 月	鑑賞 定期試験 日本美術史 学習事項の習得と確認	B 鑑賞 A 表現 共通事項(1)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	日本美術史の特徴を理解し文章としてまとめる 二学期に学習したことのまとめ	レポート 授業観察
	12 月	木彫制作 仕上げ工程1～やすり掛け 彫刻の仕上げ工程を理解し制作することで、木材の特徴やその美しさについて体験する	A 表現	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	やすりの粗目～細目までを使い分けレリーフ表現にいかすことができたか 木材の特徴を理解し個性豊かな彫刻表現ができたか	作品評価 授業観察

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【3年 美術科】 担当：野村 洋二

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
3学期	1月	木彫制作 仕上げ工程1～やすり掛け 仕上げ工程2～塗装	彫刻の仕上げ工程を理解し制作すること、 木材の特徴やその美しさについて体験する	A 表現	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	塗装の目的的理解と仕上げ	作品評価 授業観察
	2月	木彫制作 仕上げ工程2～塗装	彫刻の仕上げ工程を理解し制作すること、 木材の特徴やその美しさについて体験する	B 鑑賞	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度	木彫の特徴を理解し個性豊かな彫刻表現をする	作品評価 授業観察
	3月	鑑賞	日本美術史と西洋美術史を年代表として学習 することにより美術の流れについて空間的並び 時間的な進み方を理解する	B 鑑賞	思考・判断・表現 主体的に学習に 取り組む態度		作品評価 授業観察

令和7年度 年間指導計画・評価計画【3年 保健体育科】担当：安達 敬江

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価標準	評価方法
1 学期	4 月	A 体づくり運動	○体を動かす楽しさや心地よさを味わう ○運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解する ○目的に適した運動の計画を立て取り組む ※体ほぐしの運動 ・心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付く ・仲間と自主的に関わり合う ※実生活に生かす運動の計画 ・ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力向上を図るための運動の計画を立てて取り組む	ア. 体ほぐし運動 イ. 体力を高める運動	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・体を動かす楽しさや心地よさを味わおうとしている。 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解している。 ・体ほぐしの運動……心と体は互いに影響し変化することなどに気付き、体の状態に応じて体の調子を整え、仲間と積極的に交流するための手帳な運動や律動的な運動を行うことができる。 ・体力を高める運動……ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力向上を図るための運動の計画を立てて取り組むことができる。 ・体づくり運動の意義とその行い方を知っている。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 定期考査
		C 陸上競技	(1) 陸上競技の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができるようにする。 (2) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康安全に気を配ることができるようになる。 (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 短距離走 リレー	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・全力で競技したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行うおうちとしている。 ・自分の能力に適した目標記録や課題に対し、練習を創意・工夫・思考している。 ・技能を高めたり、記録を高めたりすることができている。 ・特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解している。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 定期考査
6 月	7 月	D 水泳	(1) 水泳の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身につけることができるようにする。 (2) 水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に気を配ることができるようになる。 (3) 水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. クロール イ. 平泳ぎ ウ. 背泳ぎ エ. バタフライ	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・続けて長く泳ぐ、速く泳いだり競争したりする水泳の楽しさや喜びを味わおうとし、技能を高めることができる。 ・水泳の特性に応じた技能を練習で身につけ、技術の名称、運動のポイントなどを理解している。 ・目標を達成するための課題に対し、創意・工夫・思考している。 ・水泳の事故防止の心得や安全な行動のしかたを理解し、知識を持っていて、また、それに準じた行動ができる。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 定期考査

令和7年度 年間指導計画・評価計画【3年 保健体育科】担当：安達 敬江

期	月	単元名 (教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
9・10月		E 球技	(1) 運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 運動に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ること、作戦などについての話し合いに参加し、作戦などについて話し合うことができるようになる。 (3) 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. ゴール型「サッカーク」又は「ハンドボール」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 定期考査
		E 球技	(1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ること、作戦などについての話し合いに参加し、作戦などについて話し合うことができるようになる。 (3) 特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	イ. ネット型「バレーボール」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 定期考査
10・11月		C 陸上競技	(1) 陸上競技の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができるようになる。 (2) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとする。分担当した役割を果たそうとする。ことなどや、健康安全に気を配ることができるようにする。 (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 長距離走	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・全力で競技したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行おうとしている。 ・自分の能力に適した目標記録や課題に対し、練習を創意・工夫・思考している。 ・技能を高めたり、記録を高めたりすることができる。 ・特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解している。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 定期考査
		C 陸上競技	(1) 陸上競技の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができるようになる。 (2) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとする。分担当した役割を果たそうとする。ことなどや、健康安全に気を配ることができるようにする。 (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 長距離走	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・全力で競技したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行おうとしている。 ・自分の能力に適した目標記録や課題に対し、練習を創意・工夫・思考している。 ・技能を高めたり、記録を高めたりすることができる。 ・特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解している。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 定期考査
12月							

令和7年度 年間指導計画・評価計画【3年 保健体育科】担当：安達 敬江

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月・2 月・3 月	E 球技	(1) 運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 積極的に関わり、役割を果したそうしようにすること、作戦などについて話し合いに安全に気を配ることなどができるようにする。 (3) 特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ウ. ベースボール型 「ソフトボール」 イ. ネット型 「卓球」 「バドミントン」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	授業観察 発言内容 学習カード 実技テスト 定期考査

令和7年度 年間指導計画・評価計画【3年 保健体育科】担当：安達 敬江

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
保健・体育理論	1 学期	体育理論③ 文化としてのスポーツ 「現代社会におけるスポーツの意義」 「国際的なスポーツ大会の意義と役割」 「人びとを結ぶスポーツ」	○文化としてのスポーツの意義について理解する ※スポーツは、文化的な生活を営みよりよく生きていくために重要なこと ※オリンピックやパラリンピック及び国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること ※スポーツは、民族や国、人種や性、障害の違いなどを超えて人々を結びつけていること		主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	○文化としてのスポーツの意義について理解している ※スポーツは、文化的な生活を営みよりよく生きていくために重要なことと理解している ※オリンピックやパラリンピック及び国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解している ※スポーツは、民族や国、人種や性、障害の違いなどを超えて人々を結びつけていることを理解している	授業態度 発言内容 学習プリント 期末考査
	2 学期・3 学期	保健⑤感染症の予防と健康を守る社会の取り組み 「感染症と病原体」 「感染症と体の抵抗力」 「感染症の予防」 「性感染症とその予防」 「エイズとその予防」 「保健機関とその利用」 「医療機関とその利用」 「医薬品の正しい使い方」 保健⑥環境の健康への影響 「環境の変化への体の適応」 「気象情報の適切な利用」 「快適で効率のよい環境」 「室内の空気の汚染と換気」 「衛生的な飲料水の供給」 「し尿とごみの処理」 「災害と環境」 「私たちの生活と環境問題」	○健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断すること ○健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断すること ○健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断すること ○健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断すること ○健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断すること ○健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断すること		主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	○健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断することと、それらを表現することができる ○健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断することと、それらを表現することができる ○健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断することと、それらを表現することができる ○健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断することと、それらを表現することができる	授業態度 発言内容 学習プリント 期末考査

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【3年 技術科】 担当：齋藤優太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期		ガイダンス ・学習の見直し ・授業の約束ごとの確認					
	4 月	生物育成の技術 ・生物を育てる技術を見つけれう ・生物を育てる技術を知ろう ・実習や見学の安全な進め方を知ろう ・育ててみよう ・生物を育てる技術の工夫を調べ考えよう ・生物育成の計画を立てよう ・計画に沿って作物を栽培しよう ・家畜や水産生物を育てる技術を体験しよう ・社会の発展と生物育成の技術	生物育成の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている生物育成の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、生物育成の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中から生物育成の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に生物育成の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	B (1) アイ B (2) アイ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度 知識・技能	・作物、動物および水産生物の成長、生態などについて科学的な原理・法則を理解している。 ・技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 ・進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 ・ベビリーフの育成を通して、生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを理解している。 ・ベビリーフの育成を通して、実習の安全な作業の進め方を身に付けている。 ・育成計画の考え方や手順を理解している。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって知的財産を創造し、他者の新しい考え方や捉え方も知的財産として尊重し、またそれらを保護・活用しようとしている。 ・自ら問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。	定期テスト ワークシート 定期テスト ワークシート 観察 定期テスト 観察 定期テスト ワークシート
	5 月						
	6 月						
	7 月						

令和7年度 年間指導計画・評価計画【3年 技術科】 担当：齋藤優太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名 (教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	情報の技術 ・計測・制御システムの技術を 知ろう ・計測・制御システムの設計の しかたを知ろう ・設計に沿った計測・制御シス テムを製作しよう 「マグカップデザイン製作」	情報の技術の見方・考え方を働かせた実践 的・体験的な活動を通して、生活や社会で 利用されている情報の技術についての基礎 的な理解を図り、それらに係る技能を身に 付け、情報の技術と生活や社会、環境との 関わりについて理解を深めるとともに、生 活や社会の中から情報の技術に関わる問題 を見だし課題を設定し解決する力、よ りよい生活や地域社会の構築に向けて、適 切かつ誠実に情報の技術を工夫し創造しよ うとする実践的な態度を身に付ける。	D (3) アイ	知識・技能 主体的に学習に 取り組む態度 知識・技能 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度 知識・技能 知識・技能 ・主体的に学習 に取り組む態度	・計測・制御の仕組み等の原理・法則を理解してい る。 ・進んで情報の技術に関わり主体的に理解し、技能 を身に付けようとしている。 ・設計の考え方や手順を理解している。 ・技術の見方・考え方を働かせて、生活の中から問 題を見いだして課題を設定している。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって知的財 産を創造し、他者の考え方や捉え方も知的財産とし て尊重し、またそれらを保護・活用しようとしてい る。 ・安全・適切にプログラムの制作、動作の確認がで きる。 ・知的財産、ユニバーサルデザイン等の観点から製 作品を見直すことができる。 ・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよい ものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正 しようとしている。	定期テスト ワークシート 定期テスト 定期テスト ワークシート ワークシート 製作品 観察 定期テスト ワークシート
	10 月						
	11 月						
	12 月						

令和7年度 年間指導計画・評価計画【3年 技術科】 担当：齋藤優太

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	情報の技術 ・双方向性のあるコンテンツの 技術を知ろう ・双方向性のあるコンテンツの 設計のしかたを知ろう ・設計を図で表す方法を知ろう ・設計に沿った双方向性のある コンテンツを製作しよう	情報の技術の見方・考え方を働かせた実践 的・体験的な活動を通して、生活や社会で 利用されている情報の技術についての基礎 的な理解を図り、それらに係る技能を身に 付け、情報の技術と生活や社会、環境との 関わりについて理解を深めるとともに、生 活や社会の中から情報の技術に関わる力、よ りよい生活や地域社会の構築に向けて、適 切かつ誠実に情報の技術を工夫し創造しよ うとする実践的な態度を身につける。	ID (2) アイ	知識・技能 知識・技能 知識・技能 思考・判断・表 現 思考・判断・表 現 主体的に学習に 取り組む態度 主体的に学習に 取り組む態度	・情報通信ネットワークの構成と、情報を利用する ための基本的な仕組みについて理解している。 ・コンテンツに用いる各種メディアの基本的な特徴 について理解している。 ・設計の考え方や手順を理解している。 ・情報の技術の見方・考え方を働かせて、地域社会 の中から問題を見いだして課題を設定している。 ・課題を解決するために、条件を踏まえて適切なメ ディアを選択し、構想を具体化して設計や計画をま とめている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって知的財 産を創造し、他者の考え方や捉え方も知的財産とし て尊重し、またそれらを保護・活用しようとしてい る。 ・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよい ものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正 しようとしている。	ワークシート 定期テスト 定期テスト ワークシート ワークシート 定期テスト ワークシート ワークシート
	2 月						
	3 月						

担当：和田政子

【3年家庭科】

年閏指導・畫值詰畫

令和7年度

指導の観点：知識・技能　思考・判断・表現　主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4・5 月	A 家族・家庭生活 1 自分の成長と家族・ 家庭生活 ①今の自分とこれまで	・自分の成長と家族や地域の 人々とののかかわりと、自分自身 の理解を深める。	A (1) ア	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り組 む態度	・自分の成長は家族をはじめ、多くの 人に支えられ、影響を受けてきたこと に気づいている。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	6 月	A 家族・家庭生活 2 幼児の生活と家族 ①幼児のところで今の自 分 ②幼児の体の発達 ③幼児の心の発達 おもちゃの製作	・幼児の体の発達、心の発達の 特徴について理解できる。	A (2) ア (ア)	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り組 む態度	・幼児の体の発達、心の発達について 理解している。 ・発達には一定の方向と順序があり、 個人差があることをふまえて理解す る。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	7 月						

担当：和田政子

主体的に学習に取り組む態度

期		単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点、 能力	評価規準	主体的に学習に取り 組む態度	評価方法
1 学 期	4 ・ 5 月	A 家族・家庭生活 1 自分の成長と家族・ 家庭生活 ①今の自分とこれまで	・自分の成長と家族や地域の 人々とののかかわりと、自分自身 の理解を深める。	A (1) ア	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・自分の成長は家族をはじめ、多くの 人に支えられ、影響を受けてきたこと に気づいている。	授業への 取り組み 期末試験 提出物	
	6 月	A 家族・家庭生活 2 幼児の生活と家族 ①幼児のところで今の自 分 ②幼児の体の発達 ③幼児の心の発達 ・おもちゃの製作	・幼児の体の発達、心の発達の 特徴について理解できる。	A (2) ア (ア)	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・幼児の体の発達、心の発達について 理解している。 ・発達には一定の方向と順序があり、 個人差があることをふまえて理解す る。	授業への 取り組み 期末試験 提出物	
	7 月							

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【3年 家庭科】 担当：和田政子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	A 家族・家庭生活 ④発達にとってのおと な役割 ・おもちゃの製作	・幼児の生活習慣について理解 できる。	A (2) ア (ア)	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・基本的な生活習慣、社会的な生活習 慣について理解している。それが自分 に身についたのは一長一短ではないこ とを学ぶ。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	10 月	A 家族・家庭生活 ⑤遊びが必要なか ⑥遊びを支える環境 ・おもちゃの製作	・幼児の遊びの意義について理 解できる。	A (2) ア (イ)	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・遊びの意義がわかる。 ・幼児は遊びにより人間として必要な 基本的なことがらを学んでいくことを 理解する。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	11 月	A 家族・家庭生活 ・おもちゃの製作	・幼児の心身の発達に応じたお もちゃや遊びについて考え、工 夫することができる。	A (2) ア (イ)	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・自分の生きてきた15年間を振り返 り、絵本の製作をする。 ・絵本製作を通して、幼児期の子ども の心、自分が興味あったことを振り返 ることができる。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	12 月						

令和7年度 年間指導計画・評価計画 【3年 家庭科】 担当：和田政子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	A 家族・家庭生活 幼児のおやつをつくる	・幼児のおやつの特徴について考 え、調理することができる。	A (2) ア (イ)	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・幼児のおやつの特徴を理解し、作 る。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	2 月	C 消費生活・環境 1 家 庭生活と消費 2 購入・支払いと生活 情報 3 消費者被害と消費者 の自立	・契約について理解できる。 ・様々な販売方法と支払方法の 特徴について理解できる。 ・商品を選択、購入、活 用することができる。 ・消費者トラブルの事例とその 解決方法を理解できる。	C (1) アイ (2) アイ (3) ア A (イ)	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・生活にかかるお金のお金の収入と消費のバ ランスの大切さを知る。 ・さまざまな購入・支払方法について 知り、消費生活のトラブルを防ぐ方法 を考えることはできる。 ・消費者の権利と責任について理解す る。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	3 月						

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	現在完了形 ・経験・完了・継続（状態） 現在完了進行形 ・継続（動作） ・Unit0 Discover a New Side of Classmates	・既習の現在形・過去形と、新出の現在完了形の違いを理解し、場面に応じて使い分けられる。 ・クラスメイトの新しい一面を知るために、最近夢中になっていることや、よくすること、その理由などについて伝え合うことができる。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・S・I・W L=聞くこと R=読むこと SI=やりとり SP=発表 W=書くこと	知) 現在形や過去形、becauseなどを用いた文の形・意味・用法を理解している。技) またねらいの内容を伝え合う技能を身に付けている。 思) ねらいの内容について、事実や考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり尋ねたり答えたりしている。 態) ねらいの内容について伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・Q&A ・ロールプレイ ・提出物 ・定期考査
		・Unit1 ・Unit2 ・Real Life English 1 ・Learning Japanese in English	・日本のポップカルチャーの魅力について経験や感想と共に伝えることができる。 ・人や環境にやさしいフアッジョンの取り組みについて説明することができる。 ・デイスカッジョンを聞き、自分の意見をまとめるために必要な情報を理解することができる。 ・世界に広がる日本語と日本文化について理解するために、英語俳句について理解したり英語俳句を詠んだりすることができる。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・S・I・SP・W L=聞くこと R=読むこと SI=やりとり SP=発表 W=書くこと	知) 現在完了形（経験）を用いた文、SVOC、SV000の文の形・意味・用法を理解している。 技) 上記の文法事項の理解をもとに、経験や人の気持ちや状態の変化、人やものが私たちに伝えることについて伝え合う技能を身に付けている。 思) 海外の人に日本に興味を持ってもらうために、日本のポップカルチャーの魅力について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。 態) 「思考」部門の内容について、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・Q&A ・ロールプレイ ・提出物 ・定期考査
		・Unit2 ・Real Life English 2 ・Unit3	・人や環境にやさしいフアッジョンの取り組みについて説明することができる。 ・社会的な話題に関する講演を聞き、話し手の伝えたい内容を理解することができる。 ・私たちにとっても大切なことを考えるために、絶滅のおそれのある動物について書かれた文章の概要を捉えたり、自分の考えを伝え合ったりすることができる。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・S・I・SP・W L=聞くこと R=読むこと SI=やりとり SP=発表 W=書くこと	知) 現在完了形（完了・継続）、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 思) エシカルな商品の特徴や長所を伝えるために、エシカルな商品をPRするためのボスターを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。 態) 「思考」部門の内容について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を使って書こうとしている。 知) It...for ~ to, want to ~やlet人動詞の原形、を用いた文の形・意味・用法を理解し、使用する技能を身に付けている。 思) 多くの人に絶滅のおそれのある動物の現状を知ってもらうために、減少の主な原因やその動物を守るために必要だと思うことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて記事を書いている。態) 書こうとしている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・Q&A ・提出物 ・定期考査
	7 月	・Real Life English 3 ・Grammar for Communication （不定詞の復習） ・Stage Activity 1	・資料から読み取った情報について、事実と意見を分けて書くことができる。 ・海外の人に日本の魅力を知ってもらうために、日本や郷土の文化などについて、詳しい情報を加えて説明することができる。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・S・I・SP・W L=聞くこと R=読むこと SI・SP=話 W=書くこと	知) Unit3までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。技) 使用する技能を身に付けている。 思) 日本の魅力を知ってもらうために、日本や郷土の文化などの情報を整理して、日本文化を紹介するパンフレットを書いて説明したり、感想をたずねあったりしている。 態) 思考の内容を実践しようとしている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・Q&A ・ロールプレイ ・小テスト ・発表 ・提出物 ・定期考査

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2学期	9月	・Unit4 ・Real Life English 4	・防災・安全への意識を高め、地域の一員として取るべき行動を考えて伝え合うことができる。 ・相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができる。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・SI・ SP・W L=聞くこと R=読むこと SI=やりとり SP=発表 W=書くこと	知) 関係疑問文とSV00(what節)の文、現在分詞・過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。技) 理解したものを活用することができる。態) 防災・安全への意識を高めるために、地域の一人としての防災への取り組みについてどんな助け合いができるか、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句を用いて話そうとしている。 ・困っている相手に対して状況に合った手助けができるように、相手の立場に立った具体的な提案を申し出たり、相手からの質問に答えたりしている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・Q&A ・提出物 ・定期考査
		・Unit5 ・Real Life English 5 ・Grammar for Communications3 (後置修飾の復習) ・Stage Activity 2	・関係代名詞等を使った名詞の修飾の仕方を理解し、人物についての説明を読み取ることができる。 ・社会的な問題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書くことができる。 ・自分のことを知ってもらうために、これまでの経験を振り返って活動報告を発表することができる。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・SI・ SP・W L=聞くこと R=読むこと SI=やりとり SP=発表 W=書くこと	知) 名詞を修飾する文、関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。思) 理想のリーダーとはどのような人かを伝えるために、理想のリーダーであるための情報について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。態) 「思考」の内容について話そうとしている。 知) Unit5までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。 思) 自分の経験や感想などを即興で話したり、まとまりのある文章を書いて発表したりしようとしている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・Q&A ・小テスト ・発表 ・提出物 ・定期考査
11月	11月	・Unit6 ・Real Life English 6	・世界の子供たちの状況を理解するため、願いにについて書かれた文を理解したり、自分の願いを伝えたりすることができる。 ・ニュースなどのテレビ番組の音声を通して、概要や要点を理解することができる。 ・仮定法を用いた文の形・用法・意味を復習し、理解を確かめる。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・SI・ SP・W L=聞くこと R=読むこと SI=やりとり SP=発表 W=書くこと	知) 仮定法と関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。思) 国を超えて助け合うことの大切さについて考えるために、地球市民としての抱負について、事実や自分の願い、思いを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。 思) 自分の言葉で説明できるように、ニュースなどのテレビ番組の音声を通して、概要や要点を捉えている。 技) 仮定法を用いて、現実とは異なる願いや仮定の話を伝える技術を身に付けている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・Q&A ・ロールプレイ ・小テスト ・発表 ・提出物 ・定期考査
		・Stage Activity 3 Let's have a mini debate	・物事を論理的、多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、社会的な話題について書かれた文章を参考に、賛成・反対の立場を決めてグループで身に着けたディベートを行い、論点に沿った主張をしている。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・SI・ SP・W L=聞くこと R=読むこと SI・SP=話し W=書くこと	知) 場面や心情を表す表現を理解している。思) 気持ちを込めて音読することができるよう、背景知識を使い、物語の流れに沿った場面の変化や登場人物の心情が書かれた文章の概要を捉えている。態) 知識をもとに場面の变化	・活動の観察 ・ペアワーク ・Q&A ・ディベート ・小テスト ・発表 ・提出物 ・定期考査
12月	12月	・Let's Read 1 A Mother's Lullaby	・物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、気持ちを込めて音読することができる。				

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	・Let's Read 2 Power Your Future	・物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解し、エピソードに関する説明文を読んだ上で、概要を理解し、自分の考えや意見を述べることができる。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・SI・ SP・W L=聞くこと R=読むこと SI=やりとり SP=発表 W=書くこと	・物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、社会的な話題について書かれた文書を参考に、賛成・反対の立場を決めてグループでディベートを行い、論点に沿った主張をしている。 ・自分にできることや感想などを述べることができるように、様々なエピソードについて書かれた説明文の概要を捉えている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・Q&A ・小テスト ・発表 ・提出物 ・定期考査
	2 月	・Let's Read3 A Graduation Gift from Steve Jobs ・学び方コーナー③	・スピーチの原稿を読んで、内容の要点を理解し、自分の言葉で伝えることができる。 ・自分に合った英語の学習方法を見つけて、楽しく英語を学び続けるきっかけを作る。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・SI・ SP・W L=聞くこと R=読むこと SI=やりとり SP=発表 W=書くこと	・メッセーの要点を自分の言葉で伝えることができるように、テーマとエピソードを整理し、生き方について書かれたスピーチ原稿の要点を捉えている。 ・楽しく英語を学ぶ続けるために、自分の合った英語の学習方法を見つけ、実際に取り組みようとしている。	・活動の観察 ・ペアワーク ・Q&A ・小テスト ・発表 ・提出物 ・定期考査
	3 月	・中学校の総まとめ	・教科書の付録教材や副教材を活用して、3年間の総復習を行い、自分の表現を相手に的確に伝えることができる。	言語活動 アイウエ 言語材料 アウエ	L・R・SI・ SP・W L=聞くこと R=読むこと SI=やりとり SP=発表 W=書くこと	・中学校3年間で学んだ単語や・文法表現を活用して、自分の意見を相手に表現したり、書いたりすることができる。	・活動の観察 ・ペアワーク ・Q&A ・小テスト ・発表 ・提出物 ・定期考査